会 議 録

承 認			事 務 局					《開催日時・場所》 平成 27 年 1 月 26 日(月) 14 : 00~15 : 30 岸和田市役所 職員会館 1 階 第 1 第 2 会議室
会 長	福井 委員	森 委員	部長	課長	参事	都市計画 担当長	担当員	
2/17	1/19	2/13						

《名 称》 平成 26 年度 第 3 回岸和田市景観審議会

《出席者》（景観審議会委員出欠状況）

大野 委員	加我 副会長	岸田 委員	田 委員	中嶋 委員	西川 委員	福井 委員	藤田 会長	堀田 委員	森 委員	頼友 委員	渡部 委員
×	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○

（委員 12 名中、8 名出席）

事務局) まちづくり推進部長 森口
 都市計画課 大井、古門、小山
 傍聴者) 0 名

《概 要》 諮問事項 ・ 第 4 回岸和田市都市景観賞の表彰者の承認について

《内 容》

- 岸和田市審議会等の会議及び会議録の公開に関する条例等について
 藤田会長より平成 26 年度第 3 回岸和田市景観審議会の会議録承認者として、福井委員、森委員の 2 名を指名。
- 諮問事項：第 4 回岸和田市都市景観賞の表彰者の承認について
 (事務局) 資料に従い、まちかど審査や第 4 回岸和田市都市景観賞選考委員会（以下、選考委員会）による現地審査など本事業について説明。加えて選考委員会による推薦物件 4 件について報告。
- 諮問事項についての質疑応答は次のとおり
 (会 長) 議論の過程で議題に上ったような事柄はあるのでしょうか。
 (事務局) 選考委員会においては、大規模部門の中で「二の丸広場の整備」なども推薦候補に挙がっていました。「八木市民センター」と「道の駅 愛彩ランド」については評価も拮抗していましたが、川沿いの桜並木を巧みに景観に取り込んでいることなどが評価され、「八木市民センター」が都市景観賞として推薦されました。「道の駅 愛彩ランド」については、平日でもたくさんの方が訪れている等、にぎわい景観を創出している点が特別賞として評価されました。
 一般公募部門については、現代的な建築物と歴史的な建築物が議論の対象となり、Bの「なかで耳鼻咽喉科」、Cの「下野町の住宅」、Kの「東ヶ丘町の住宅」、Nの「本町の住宅」、などが協議対象とされました。Cの「下野町の住宅」については、大変外観に気を配って建築され、なかなか真似できない重厚な造りとなっており、都市景観賞に相応しいということになりました。
 Bの「なかで耳鼻咽喉科」については、写真で見るより実物が良いという評価がありました。

室外機器などが見えないような工夫や有孔ブロックなど細かなディテールにも凝られていることなども評価され、奨励賞として推薦されました。

(会 長) これら以外でもまちかど審査でたくさんの票を集めている物件がありますが、議論に挙がらなかったのですか。

(事務局) 建築物としては外観・意匠に工夫が見受けられるなかで、細やかな点についてその地域の歴史的背景や色調・デザインについて委員の間で意見が分かれるなどまちなみ景観との調和といった点についても議論があり、今回の決定となりました。

(委 員) 事務局の説明にあったように、歴史的な建築物については選考委員会でも議論になりました。どちらも建築物としてはグレードの高いものでしたが、今回の事業が建築賞ではなく、都市景観賞であるということで、個々の建築物を判断するだけではなく、周りのまちなみ景観との調和も重視しました。いかに周辺のまちなみに溶け込んでいるかといった比較しての議論も行ない、あともう少しのところ、選考から外れた物件もありました。

また、Bの「なかで耳鼻咽喉科」についてはまちかど審査では得票が低かったのですが、現地調査してみても発見したような物件です。実際に現地を見ないと分かりにくいのですが、駅側から来るときちんとセットバックされていて、建築物のルールが効果的で柔らかい印象を与えます。

(委 員) それ以外でも、建築物としてグレードが高く、さまざまな角度からみても破綻なく良い物件もありましたが、外壁が周辺のまちなみとの一体的な調和を疎外している感が否めず、選考から外れた物件もありました。また、大規模部門の新築された病院でも建築物としてのグレードは非常に高いが、同様に立体駐車場が疎外感を与えてしまっているものもありました。

(会 長) それでは、大規模建築物届出部門、一般公募部門における都市景観賞、特別賞、奨励賞の諮問物件についてご異議はありますか。

(全委員) 異議なし。

(会 長) 諮問事項につきましては、原案のとおり同意するという事で答申したいと思います。

(会 長) それでは、この事業につきまして、ご意見やご感想などがあれば、お伝えください。

(委 員) まちかど審査での票の取り扱いが非常に難しいと思いました。

(委 員) 毎回写真の撮り方とまちかど審査の得票については議題にあがっています。写真の撮り方は、回数を重ねるごとに上手くなっていると思います。

文化財分野からの意見としては、景観上良いとされる建築物と文化財の保全の上で良いとされる建築物は異なります。歴史的建築物では、部位の形や特徴に配慮しつつ、近隣との軒位置を揃えることにより、まちなみとしての調和が図られることもあるので、そうした視点からまちなみを捉えることも非常に重要であると認識いただければと思います。

(委 員) あまり緑化の面で力を入れている物件が見られませんでした。次回にはそういった物件が増えることを期待しています。

(委 員) 写真が全ての情報を伝えることはできませんが、現地審査もきちっと行う事が出来ていますので審査としては十分適切に出来ていると思います。

(会 長) 応募者にとってもらった写真を掲出することも方法ではあるのですが、そうしてしまうと写真のレベルに格差が出来てしまいます。光の加減などで現物よりも良い写真が出来る可能性もありますので、注意が必要だと思います。

●その他

(事務局) 本日、答申いただきました都市景観賞の表彰物件につきまして、平成 27 年 2 月 8 日 (日曜日) に東岸和田市民センター 4 階の大会議室にて表彰式を開催したいと思います。是非ご参加ください。

(以上)